

東北日日新聞

本報創刊二十九年
昭和四年三月九日創刊
本報社址 仙台市大町
電話 二二二二
印刷所 仙台市大町
電話 二二二二
代印所 仙台市大町
電話 二二二二

中小農商工への福音

低利産業資金を融通

昨日簡易運用委員会決定 數年來の懸案やつと實現

簡易保險積立金運用委員本仙臺、札幌各通信局所管に帯は二千圓の限度である年度第一回會議は四日午後照會すべき個人貸附一世一時半から通信省において開催小泉會長外各委員出席

- 一、簡易生命保險積立金 貸附方針中改正の件
- 一、昭和五年度簡易生命 專行積立金貸付原資 分配の件
- 一、同郵便年金積立金運 用計畫案

車体検査の結果 町村税収入に激減

小町村は財源難で狼狽

四倉署管内の自動車検査を蒙らねばならぬ結果 査成績は既報の如く乗用車となるので競争あまりに激 中八十臺近くの一月乃至 甚なためなきに利益少 至つたため端しなくも課 捨て、相當廢車を行ふ者が 多し模様で従つて各町村は 税期を控へて問題が持上つ 勿論、縣稅係り等は減稅の 當然を豫想し財源難の場合 でもあり非常に狼狽してゐ る、平町でさへ附加税は四 十九圓五十錢で約二十臺の 期間附車臺があるもので一 千圓近く減收を見ねばなら ず、これに植田署管下をあは せば郡下では附加税のみで實 際四、五千圓の激減となる 盛期と見られ四倉商市場も 十日ころから開場する事になつてゐる、郡北方部、平

第一回の 家屋調査員招集

来る九日午前十時から平町見られす、結果前澤氏以外會議室に於て第一回の家屋の候補者を推すものと觀測 税調査委員の招集をなすが、民政の兩派の調 當日の會議事項は

- 一、第二次家屋調査委員 派が如何なる行動をとるか 員の組織すべき調査 第二次委員選舉は極めてそ 價格調査の件
- 二、昭和五年度家屋賃賃 の成行きを注目されてゐる

第二六年生 修學旅行

仙臺植金方面へ 興味あるのは民政派で前澤、鹽釜、松島等を 文太郎氏が有力である然見學に今六日午前四時四十分 此の前澤氏説には野崎派分發列車で何れも喜々々 が無條件で賛成するとはして出發した

石城地方の春蠶 上族最盛は十日頃

繭が出て買手がつかず 増収を豫想し相場は下落 石城郡地方に於ける春蠶は僅、大野小川村方面の早い 蠶兒の發育並に桑葉の發育もは既に二三日前から出 蠶も極めて良好でありそれに廻つたか何せ相場が平均四 天候も順調なので前年より十掛臺であるため仲買人も 取柄は増加するものと豫想相場の暴落を恐れてか進ん 取柄は増加するものと豫想相場の暴落を恐れてか進ん 取柄は増加するものと豫想相場の暴落を恐れてか進ん

農家は大喜び

養蠶家は給桑に悲觀し 今日天気で胸なで下す 例年ない最近の暑さに平 錢飲食をなし平署に突き出 地方を初め濱通りは一般に 水不足を來すに至り出植期 前にして農家は準備に惱も 見つけからずそれに無一 まるゝに至つたが昨拂曉 文で空腹のため悪い事は 來の雨に全く蘇生のおもひ 知りながら無錢飲食をし まるゝに至つたが昨拂曉 文で空腹のため悪い事は 來の雨に全く蘇生のおもひ 知りながら無錢飲食をし まるゝに至つたが昨拂曉 文で空腹のため悪い事は

學事統計 事務打合せ

演三郡中等各校 演三郡中等學校學事統計事 事務打合せは五日より三日間 各種團體事務所を開いた

田町にチブス

平町高野得助方雇人高岡定 造(二)は去月廿七日來よ り病氣のところ腸チブスと 判明直ちに隔離された

徴兵検査願出

全國に稀れな話 平署に五日午前十一時ころ 小雨降る中に白尾組名入り 小南一校をきて失業者風全 二、一九五 若しこの天候が尚續けば折 態の四五歳の男が兵事係全 三、三〇〇 橋本部長に壯丁検査の手續 法を教へて下さいと願出た 法を教へて下さいと願出た 法を教へて下さいと願出た

平町物價表

白米一等	二、〇〇〇
白米二等	一、九五〇
白米三等	一、九〇〇
白米四等	一、八五〇
白米五等	一、八〇〇
白米六等	一、七五〇
白米七等	一、七〇〇
白米八等	一、六五〇
白米九等	一、六〇〇
白米十等	一、五五〇
白米十一等	一、五〇〇
白米十二等	一、四五〇
白米十三等	一、四〇〇
白米十四等	一、三五〇
白米十五等	一、三〇〇
白米十六等	一、二五〇
白米十七等	一、二〇〇
白米十八等	一、一五〇
白米十九等	一、一〇〇
白米二十等	一、〇五〇
白米二十一等	一、〇〇〇
白米二十二等	九、五〇〇
白米二十三等	九、〇〇〇
白米二十四等	八、五〇〇
白米二十五等	八、〇〇〇
白米二十六等	七、五〇〇
白米二十七等	七、〇〇〇
白米二十八等	六、五〇〇
白米二十九等	六、〇〇〇
白米三十等	五、五〇〇
白米三十一等	五、〇〇〇
白米三十二等	四、五〇〇
白米三十三等	四、〇〇〇
白米三十四等	三、五〇〇
白米三十五等	三、〇〇〇
白米三十六等	二、五〇〇
白米三十七等	二、〇〇〇
白米三十八等	一、五〇〇
白米三十九等	一、〇〇〇
白米四十等	〇、五〇〇
白米四十一等	〇、〇〇〇

無錢飲食

職にあふれた哀 岩手縣松濱郡内田村大村 弟とより十六歳の春望み全 (赤) 全 貧しいため十四の時内郷村全 (雜木) 全 貧しいため十四の時内郷村全 (雜木) 全 貧しいため十四の時内郷村全 (雜木) 全

●り替眞寫日五●

原作 金子 史劍
監督 川市 高
主演 門衛太右 高
子文夜小 典國堂
藩菜の北東。前直新維はれこ
るあて話挿一たつ起に
想迷の夷讓國鎮尙てれら切を髪
……は俺……よ等奴ぬめ覺眼に
ぞるやてつ笑で底の獄地……
……をび叫の吾金田上。士血

原作脚色監督：伊丹萬作氏
片岡千恵藏

時代劇 春風の彼方

小林三郎・櫻井京子・瀨川路三郎・助演
……何處へ行つて何をしたらよいかどうすれば
飯にありつけるか？……今夜は何處へ寝たらよ
か？……此の大勢の人間がみんなどうにか食
つて生きてゐるのた！……俺だけが食へな
いと云ふ理屈はない筈だ……と牢から出
た三公は考へた……それから下す

◆日活現代小唄映画一級品◆
瀧花 久子・島耕二…主演

悲曲名なし鳥

鳥は鳥でも名のない鳥よ
今日も涙で啼け庭の木に
人は人でも添はれぬ人よ
またの逢瀬もいつしややら
鳥は鳥ゆへ日ぐれが悲し
人は人ゆへおきてが辛し
涙ふき、空見てみれば
明日も晴れかよ遠あかね

六六四電 館平 通普金料

電話賣物有り

▲尙御不用の電話は買入れます
委細面談

平町三丁目
文福堂

美術造花 葬儀用達
自轉車 卸商
附屬品

山光堂

電話五五〇番

移轉廣告

店舖改築中三丁目横町藤市蒲鉾店向へ一時移
轉致しました

移轉中大特賣

夏トロンビ レンコート 合着セビロ…大見切
作業ズボン 六十五 錢
小學生通學服 七十五 錢
夏トロンビ 四十五 錢
黒セル上着 三十五 錢
ネズミセル上着 三十五 錢
男女ゴム引マント 一圓十五 錢

平町三丁目(佐川洋服店横)
假營業所 正札堂洋服店
電話四三六番

淋病と消渴に

と云ふ最新藥の服用をお勧め
致します。胃腸を害さず
きつめの良き事すでに服藥者
の言により明かです

濟淋

四日分金壹圓 八日分金壹圓八十錢

製藥發賣元 水野藥局

現代に於ける此の進歩せる療法を一度
お試し下さい



★新發賣品★

治淋 薬 ラウタール 定價 拾圓
幾多の治淋藥中超然として偉効確たるの自
信を有するものは本劑あるのみ 是非一回の
御試用を乞ふ

平町五丁目
一手販賣店 山野邊藥局

初夏サロンの新装

店內に新緑の氣分を集め アイスクリーム
を開始いたしました ドーン御用命を……

一(御一人前十五錢)

田町サロン

電話三五二番
サロンの公休は毎月第三日曜

夏物新製品大賣出し

涼味溢る、今夏の流行品を
各種豊富に取揃へて
品質に價格に自信ある新安値品
昭和五年流行界の
婦人俱樂部ゆかた
昭和調婦女界ゆかた
リ、現、戦ゆかた
繪羽模様のゆかた
外、十、種

三井呉服店

海岸線平町

▲時計の病氣は大谷へ
如何なる病氣も直る……
優良なる器械で安く
殊に學生諸君には元價で提供す

大谷時計病院

平三 電話十九番

増築落成 病室完備

入院隨意

上田外科醫院

平町電話一二九番